資料２

クラウドファンディングについて

（地域包括ケアシステム実現に向け、訪問看護車両購入を目的としたクラウドファンディング）

１【クラウドファンディング】

クラウドファンディングは、インターネットを介して、自己・組織等の夢や想いを世の中へ発信し、その活動を支援する不特定多数の人々から資金を募る仕組み。

２【クラウドファンディング法人選考】

医療/福祉分野でのクラウドファンディングで実績のある READYFOR（株）（東京都千代田区一番町８　住友不動産一番町ビル7階）を選考する（令和5年6月27日管理職会議決定）。

３【医療領域でのクラウドファンディング活用】

医療/福祉分野でのクラウドファンディングの利活用は、増えつつある。直近2年間では、プロジェクトの達成率は約90％、平均達成金額は約1，000万円とされる。財源のためというよりは、特に地域とのつながりを強化することに意義を感じ、実施する医療機関が多い。広報の意味合いや、支援者からの応援の言葉が組織に与えるメリットが大きいとされる。

４【今回の企画趣旨】

地域包括ケアシステムの医療分野の中心を担う当院への期待を、院内外の人々に感じていただきつつ、支援を集め、温かい想いで地域医療を支えるための車両を購入するためにクラウドファンディングを企画する。

当院は、令和元年に訪問介護（みなし）を実施、令和4年にステーション化し現在は3台のリース車両で訪問看護および訪問リハビリを実施している。訪問診療も実施しており、地域の皆様からのニーズも高く、今後さらに在宅医療件数は伸びる見込みである。さらに車両を増やすこと、また、冬場にも滞りなく訪問できる体制を整えるため、深い積雪時も訪問できる車両が求められている（過去にも豪雪時に患者宅に向かう際に雪道に車両が埋まり、院内から救出の応援要請を出している）。

「できることからはじめよう！プロジェクト」の1つの WG として位置付け、始動予定である。

地域の皆様のため、また、日々訪問看護に尽力する看護師のためにも、専用車を購入し、より1件でも多く訪問ができるよう万全の体制を整えたい。加えて、豪雪時に訪問するスタッフの負担や、訪問介護活動の阻害要因の軽減のために冬道走行を踏まえ四輪駆動の車両を備えたい。

５【目標額】

５００万円とする。訪問看護・訪問リハビリのため新規車両2台（冬場の耐性に備え四駆の車両1台と通常の2WDの車両1台）

６【リターン】

返礼なし。御礼メール、HP 等への氏名掲載、寄付金証明書（寄附金控除型）発行とする。

７【スケジュール（案）】

準備期間：　令和5年7月中旬～9月初旬　公開期間：　令和5年9月16日～10月末日、10/1開催のお病院まつり等で広報、12月末納車予定

【成功事例】

救急車の買い替え/済生会大牟田病院(196床)/福岡県大牟田市

クリニック親切に向けた送迎車両購入/社会医療法人　森山病院(293 床)/東京都江戸川区

地域に根ざした診療所開設に向けた訪問看護車両購入/医療法人社団オレンジ　石川県輪島市